

# 統計に見る福島の教育

小  
中  
高  
幼

27 (児童生徒数の推移)

32

37

42

47

52

## 児童・生徒1人当たりの教育費(1)

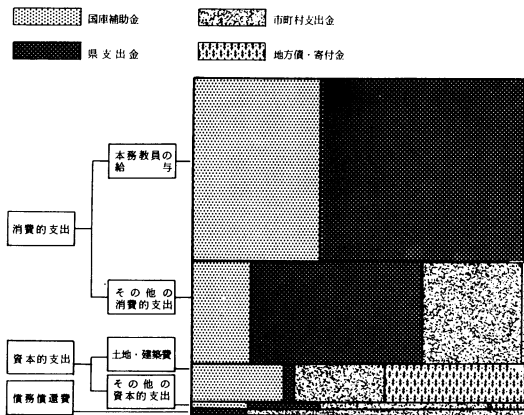


図1 支出項目別・財源別の児童・生徒  
学校教育費一人当たり

はじめに  
児童・生徒一人当たりの教育費を見る場合、公財政から支出された経費と、家計から支出された経費とから見ることもできる。  
はじめに、公財政から支出された経費を、昭和50会計年度「地方教育費」の調査結果から見ることにする。  
なお、ここでいう学校教育費とは、公立の諸学校の経費について調査したものであり、私立の幼・小・中・高校や短大・大学のために支出した経費は含まれていない。

表1 学校種別児童・生徒1人当たり教育費(50年度)  
(単位 円)

区分	総額	国庫補助金	県支出金	市町村支出金	地方債	寄付金
総額	327,311	95,930	161,827	51,586	15,071	2,897
幼稚園	148,407	12,056	-	128,797	5,293	2,261
小学校	323,111	120,540	125,772	61,471	14,044	1,284
中学校	328,468	125,232	123,412	63,682	14,318	1,824
盲・聾・養護学校	2,474,918	806,675	1,585,759	45,152	32,323	5,009
全日制高校	340,309	5,048	305,093	54	21,666	8,448
定時制高校	432,706	10,505	414,931	939	-	6,331
通信制高校	67,961	4,334	62,465	14	-	1,148
各種学校	148,026	-	-	147,356	-	670

一、児童生徒一人当たり学校教育費  
児童生徒一人当たり学校教育費について、まず、支出項目別、財源別の内訳によって見たのが図1である。支出項目別の内訳によると、「本務教員の給与」の占める割合が五割をこえ、その残余が「その他の消費的支出(事務職員・用務員の給与、消耗品費、学校施設の光熱水費、給食費、教職員等の退職手当など)」と「土地・建築費」となっている。  
また、財源別の内訳によると、県支出金が約五割弱と大きいのが、財源ごとに支出の内訳をみると支出項目によってかなり異なっていることがわかる。

表2 児童・生徒1人当たり  
教育費の比較

区分	全国	本県
幼稚園	188,367	148,407(37)
小学校	302,288	323,111(14)
中学校	354,833	328,468(34)
盲・聾・養護学校	2,670,451	2,474,918(32)
全日制高校	416,281	340,309(44)
定時制高校	535,480	432,706(35)

( )内の数字は順位である。

二、学校種別に見ると教育費はいくらになっているか  
児童・生徒一人当たり教育費を、学校種別に見たのが、表1である。盲・聾・養護学校が二百四十七万四千九百八十八円と最も高く、次いで定時制高校、全日制高校、中学校、小学校、幼稚園、各種学校、通信制高校の順となっている。  
三、全国平均と比べてどうなっているか  
本県の児童・生徒一人当たり教育費と全国のそれとを比較して見たのが表2である。  
また、全国と比べ児童・生徒一人当たり教育費の比較が高い小学校と最も低い全日制高校を支出項目別に比べて見たのが、表3である。